

ヒトや動物のたん生

【基本問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) ア</p> <p>(2) ア</p> <p>(3) 受精</p> <p>(4) 子宮</p> <p>(5) ウ</p>	<p>◆ (1) メダカのおすとめすは、せびれとしりびれの形で分けることができず。せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしているものがおすです。</p> <p>(2) とても小さいので、観察するときは、けんび鏡を使ってお察します。</p> <p>(3) 受精が行われないと、卵は成長しません。</p> <p>(5) ヒトの子どもが子宮にいるときは、へそのおを通して、母親のからだから養分などを受け取っています。不要なものも、へそのおを通して、母親のからだにわたっています。</p>

ヒトや動物のたん生

【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) エ→ア→イ→ウ</p> <p>(2) はらのふくろの養分を使うから。</p> <p>(3) ウ</p> <p>(4) ウ→ア→イ</p> <p>(5) ミジンコ</p>	<p>◆ (2) メダカでは、自分でえさを取りはじめまでの成長に必要な養分を、すべて受精卵の中にたくわえています。そのため、ヒトよりメダカの方がずっとからだがか小さいにもかかわらず、メダカの受精卵の方がヒトのものよりも大きくなっています。</p> <p>(5) ミジンコは、水中にすむ、さらに小さな生き物を食べています。</p>

植物の発芽、成長、結実

【基本問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) ㊸, ㊹, ㊺</p> <p>(2) てんぷん</p> <p>(3) 日光が当たらなかったから。</p> <p>(4) 受粉</p> <p>(5) こん虫</p>	<p>◆ (1) 種子が発芽するためには、水・空気・適当な温度の3つの条件が必要です。光と肥料は、発芽には特に必要ありません。</p> <p>(2) てんぷんにヨウ素液をたらすと、青むらさき色に変化します。</p> <p>(3) 植物が大きくなるためには、発芽に必要な条件に加え、日光と肥料が必要です。</p> <p>(5) こん虫によって花粉が運ばれる植物は、ほかにカボチャなどがあります。</p>

植物の発芽、成長、結実

【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) C</p> <p>(2) 種子の発芽に、日光は必要ないこと。</p> <p>(3) ㊸と㊺</p> <p>(4) AとC</p> <p>(5) ア</p>	<p>◆ (1) インゲンマメの種子は、子葉になる部分(図のC)にでんぷんをたくわえています。</p> <p>(2)(3) 1つだけ条件を変えたものどうしを比べ、両方とも発芽すれば、その条件は発芽には特に必要ないとわかり、かた方だけが発芽すれば、その条件は発芽に必要なだとわかります。</p> <p>(4) (2)(3)と同じように考えます。</p> <p>(5) 植物が実をつけるには、おしべの花粉がめしべの先につくこと(受粉)が必要です。イでは、受粉が行われないので、実ができません。</p>

雲と天気の変化

【基本問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) ㉞…西 ①…東</p> <p>(2) イ</p> <p>(3) ① ア ② イ ③ ウ</p>	<p>◆ (1) 日本列島の近くの上空には、強い西風がふいているので、天気は西から東へととうつり変わります。</p> <p>(2) 春と秋には(1)の西風のえいきょうが大きくなります。</p> <p>(3) ① 雲画像で白く写っている地いきは、雲がかかっている地いきです。 ② ③ 天気は西から東へととうつり変わるのので、雲も西から東へと移動します。</p>

雲と天気の変化

【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p>1 (1) ㉞…× ①…×</p> <p>(2) 夕焼けが見えるときは西の空に雲がないときだから。</p> <p>2 (1) A→C→B (2) ① ㉞ ② ㉞</p>	<p>1 (1) 朝焼けが見えるのは東の空に雲がないときです。天気は3～4日ごとに変わることも多いので、晴れの日が終わりがけでいると考えられます。山にかきのよな雲がかかるとは、空気にしめり気が多いときです。</p> <p>2 (1) 同じような形をした雲の動きから判断します。 (2) (1)より、Bは午後6時の画像だと考えられます。Bでは、②の地いきに雲がありません。</p>

流れる水のはたらきと土地の変化

【基本問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) ①…けずる ②…積もらせる</p> <p>(2) ① イ ② ㉞ (3) 上流…ウ 中流…イ 下流…ア</p>	<p>◆ (1) 流れる水のはたらきには、ものをけずるはたらき、ものを運ぶはたらき、ものを積もらせるはたらきの3つがあります。水の流れる速さが速くなるほど、ものをけずるはたらきと、ものを運ぶはたらきがさがさかんにになります。</p> <p>(2) 川が曲がって流れている部分では、川の内側ほど流れがおそく、外側ほど流れが速くなっていきます。</p>

流れる水のはたらきと土地の変化

【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p>◆ (1) イ</p> <p>(2) ① 下流 ② 上流 ③ 上流</p> <p>(3) ① A…ウ B…ア ② ㉞…B ㉞…A</p>	<p>◆ (1) 大雨がふると川の水がふえます。川の水の量がふえると、流れる水の、ものをけずるはたらきとものを運ぶはたらきが大きくなります。</p> <p>(2) 上流では川のかたむきが急なため、流れが速くなっていきます。下流では、とちゅうで支流から水が流れこんでくるため、水の量が多くなります。</p> <p>(3) Aを三角州、BをV字谷といえます。Aは水の流れがおそい下流に、Bは水の流れが速い上流にできます。</p>